



今月のトピックス

企画展示「山車からくり人形展」

- 日時 3月12日(日)～3月25日(土)
- 場所 図書館2階小集会室
- 特別企画 3月12日(日) 11時・14時 からくり・お囃子実演(向島 中之町山車)
3月18日(土) 10時 講演:黒田幹夫氏「津島秋祭の歴史とお囃子の成り立ち」
※講演は大集会室にて行います。

からくり人形の現物展示のほかに、山車祭の歴史、山車の構造、江戸期山車絵図に関するパネル展示を行います。3月12日には実演もありますので、ぜひお立ち寄りください。

地域の歴史に親しむ講座『朝鮮通信使』

- 日時 3月18日(土) 午後2時～
- 場所 図書館2階大集会室
- 講師 浅井厚視氏(津島市立南小学校校長)
- 定員なし・申込不要



日本と朝鮮半島は古来より密接な関係があったものの、様々な摩擦もたびたび起きていました。今回、江戸時代に度々東海道を往来した朝鮮通信使について、史料に残された記述を中心に、当時の文化交流について紹介します。

企画展示「津島市、70年の物語」

※3月より開催予定

- 場所 図書館1階展示コーナー

3月で市制施行70年を迎える津島市。その歴史はどのようなものだったのでしょうか?終戦直後の混乱期や市制が施行された当時の様子、そしてその後の歩みを写真などから振り返ります。

3月8日は「みやげの日」

3月8日は「みやげの日」です。「み(3)や(8)げ」の語呂合わせから、全国観光物産振興協会によって制定されました。そこで今月は「みやげ」に関する本を紹介します。



- 『ニッポンのお・み・や・げ』

日本地域社会研究所/編 国土交通省観光庁/監修 日本地域社会研究所 689.5 二

- 『おいしい!おもてなし名古屋の手土産』 横田佳代子/編著 クリタ舎 596 三
- 『ニッポン旅みやげ』 池内紀/著 青土社 915.6 一

新 着 図 書

『芸術家の愛した家 巨匠のルーツから読み解く美術入門』



池上英洋／〔著〕 エクスナレッジ 723
数々の名作を生み出し、今もなお私たちを魅了し続ける芸術家たち。彼らはどのような環境で作品を生み出していたのでしょうか？

本書では、そんな芸術家たちの家を紹介しています。掲載されている家は農家、城、アトリエと様々ですがどれも美しく個性的。

例えば、ダリが晩年創作活動を行っていた家は「卵の家」と呼ばれており、家じゅうのいたる所に卵のオブジェが飾られています。卵はダリにとって「生命」、「宿命」を表す大切なモチーフなのだそうです。

名作誕生の背景や、芸術家のプライベートを覗き見ることのできる一冊です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『壁の男』 貫井徳郎/著 ←家々の壁に落書きのような絵を描く男、伊苺。彼が絵を描き続ける理由とは…。
- 『あんこのことがすべてわかる本』 芝崎本実/あんこ事典監修 ←あんこの作り方や歴史などを紹介した1冊。
- 『うき世櫛』 中島要/著 ←女髪結いのお夕に弟子入りした結。2人は髪結いで江戸の女性たちを救うが…。
- 『挑戦』 大下英治/著 ←2016年7月に初の女性都知事となった小池百合子氏。彼女の歩んだ半生を描く。
- 『十二人の死にたい子どもたち』 冲方丁/著 ←廃業した病院に集うのは12人の子どもたち。その目的は…。
- 『火竜の山』 樋口明雄/著 ←山岳救助隊の星野と神崎は登山客に人気の山、新羅山を講演のために訪れるが…。
- 『天皇陛下「生前退位」への想い』 保阪正康/著 ←近代天皇制を研究する著者が「生前退位」を考察する。
- 『なんでわざわざ中年体育』 角田光代/著 ←運動が大嫌いな著者がスポーツに挑む！体当たりエッセイ集。
- 『ぐるぐる問答』 森見登美彦/著 ←人気作家の森見登美彦氏が作家、芸人、漫画家など様々な人と対談。
- 『はじめて茶会に招かれました。』 淡交社編集部/編 田淵正敏/イラスト ←茶会の作法をイラストで解説。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

28日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

